

# 若林 悠

講演会

## 風刺画から見た 戊辰戦争



北海道生まれ。滋賀県在住。

同志社大学文学部卒。風刺画研究家。

現在の一般的な歴史認識と、風刺画に描かれた当時の社会状況や庶民感情は、時に激しい隔たりを生じている。

近代日本史の中で、その隔たりが最も大きいのが幕末だ。戊辰戦争当時、江戸っ子たちが一丸となって応援していたのは旧幕府軍、特に佐幕派筆頭の会津藩だった。

現代人があまり知らない、戊辰戦争中に大量生産されていた風刺画を使って、覚馬と八重の時代を振り返りたい。

令和6年

6月14日

金

定員:100名 要予約

時間:10:00~11:00(講演会)

11:00~12:00(顕彰祭)

12:00~14:00(直会)

参加費:5,000円

会場:大龍寺

福島県会津若松市慶山2丁目7-23

主催:新島八重顕彰会

下記よりお申し込みください。



090-4663-9845(岩澤)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用と施設入口に設置のアルコール消毒液での手指消毒をお願いします。  
また、当日に発熱や風邪の症状がある場合は受講をお控えください。